

講師陣			
●加藤包装技術事務所	(包装管理士)	加藤 武男 氏	
●トータルプロネット	代表(包装専士)	岡 利彦 氏	
●日本包装コンサルタント協会	会長(技術士(経営工学)、弁理士)	白倉 昌 氏	
●カゴメ株式会社	商品開発本部 新領域開発部 容器開発グループ(包装専士)	加藤 道昭 氏	
●前 オリンパス株式会社	JPI包装専士(輸送包装講師)(包装専士)	藤井 幸則 氏	
●大日本印刷株式会社	Lifeデザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター サービス開発本部 プランニング第1部 第2グループ	金子 素子 氏	

公益社団法人日本包装技術協会 各種研修活動のご案内

■人材育成コース

①包装新人研修コース(4月開催)

入社1～2年目の新人を対象に初歩の一般的な包装基礎知識の習得を目指します。

②包装基礎コース(5月開催)

入社3年目以降、または新たに包装分野に就かれる方を対象に、包装の全ての分野にわたり短期間習得を目指します。

③包装管理士講座(6月開催)

包装基礎コースの内容より一歩踏み込んだ広義の専門知識の習得を目指します。一般講義、グループ討議、ケーススタディ等合宿を通して交流親睦を図ります。

④包装専士講座(6月開催)

専門分野の深度化と高度化を目指します。輸送包装・食品包装・包装材料・医薬品包装の4コースを開講予定。

■専門別人材育成コース

⑤フレキシブルパッケージコース(11月開催)

⑥食品包装コース(2月開催)

食品包装に必要な知識と最新情報について計4回講義を行います。

⑦緩衝包装設計実践コース(11月開催)

緩衝包装の目的、力学基礎、設計技法を実際の緩衝設計プロセスに沿いながら解説します。

⑧段ボール包装設計コース(2月開催)

主に初心者を対象に段ボールの特性を学び、実習時に段ボール箱を作成します。

■時事テーマ別講演会

⑨化粧品包装セミナー(7月開催)

化粧品包装のデザイン、新技術、包材、化粧品業界の動向についてプログラム編成します。

⑩包装材料セミナー(1月開催)

新包材・開発事例・包装資材にまつわる問題や法律の説明、素材別マーケット動向について紹介します。

⑪包装近未来シンポジウム(3月開催)

グローバル戦略・サステナビリティ社会・包装新技術・変わる消費者の動向を探る事を目的として開催します。プログラム後半にパネルディスカッションを行います。

⑫医薬品包装セミナー(3月開催)

医薬品包装の法規、新技術、包材、医薬品業界の動向についてプログラムを編成します。

JPI包装人材育成コース
第31回 包装新人研修コース
包装にこれから携わる人の入門講座

開催日 2025年4月3日(木)・4日(金) 2日間

受講対象 新年度入社される方 入社1～2年の方

主催 公益社団法人日本包装技術協会

ご受講のご案内

企業にとって、人材を育てることは、財産を育てるということであり、企業の未来を切り拓く力を育てることになります。また、これらの人材が戦力として、いかにより早く活躍できるかも大きなポイントになります。当コースでは、各界の専門家を講師に招き、包装全般に渡る基礎知識の習得から、昨今、包装業界が直面している環境問題・法律問題等に至るまで、包装を判りやすく体系的に解説します。また、研修を通して、受講生間で交流を深め、今後のネットワーク作りに役立てることが出来ます。包装の概念を理解し、“他者より豊富な知識を持っている”という自信を最初に与えることにより、更なる自己啓発も可能となります。どうぞ、当コースを貴社新人教育の一環としてご利用くださいますようお願い申し上げます。

開催要領

日時 2025年4月3日(木)・4日(金) 2日間
会場 公益社団法人日本包装技術協会 A会議室(案内図参照)
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
定員 30名(最少催行人数 20名)
受講料 会員企業 1名39,600円(消費税10%・テキスト代、昼食2日分含む)
一般 1名50,600円(消費税10%・テキスト代、昼食2日分含む)
申込締切 2025年3月28日(金) まで
(但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

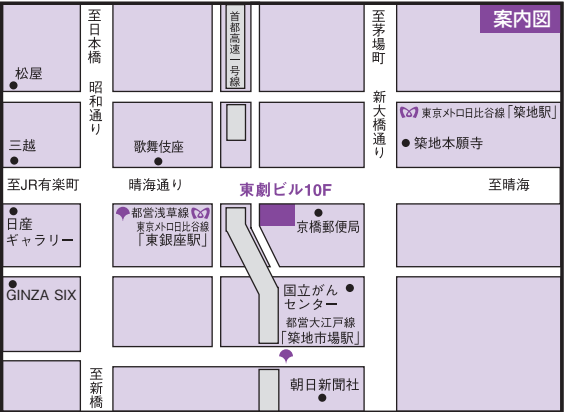
*受講者が決まっていない場合でも、先に受講枠を確保できますので、事務局までお問合せ下さい。
*感染症や天災の発生などにより会場での開催が難しくなった場合は、オンライン配信(Zoom)での講義に変更させて頂く可能性があります。

お申し込み方法

①協会HPより、必要事項をご入力の上、お申込み下さい。
協会HP : <https://www.jpi.or.jp>
②申し込まれた方に後日請求書をお送りします。
③受講費は、請求書記載銀行へ開催前日までに銀行振込にてお支払い下さい。
④受講者の方が当日都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えございません。

個人情報の取り扱いについて

1.個人情報は「第31回包装新人研修コース」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2.受講申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。



お問合せ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会
包装新人研修コース係 担当：坂本
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル10階
TEL.03-3543-1189 / FAX.03-3543-8970
e-mail : sakamoto@jpi.or.jp
協会HP : <https://www.jpi.or.jp>

第31回包装新人研修コース
プログラム

4月3日 (木) 第1日目		
時 間	講 義	
10:00~11:30	テーマ	包装の役割と包装を取り巻く現状
	講 師	加藤包装技術事務所 (包装管理士) 加藤 武男 氏
	包装の社会性、包装の役割とその変化を認識した上で、包装産業の現状とこれからの包装に求められる課題について説明する。 1. 包装の役割 2. 包装と暮らし 3. 包装の役割の変化 4. 暮らしを変えた包装の事例 5. 包装産業の現状 6. 包装と環境問題 7. これからの包装	
11:30~12:30	昼 食	
12:30~15:20	テーマ	包装に求められる包装材料
	講 師	加藤包装技術事務所 (包装管理士) 加藤 武男 氏
	包装に求められる保護性や利便性を実現するために様々な材料が使われている。包装を知るには材料を知る必要があり、それらの材料を包装の形にする加工方法を知る必要がある。紙、プラスチックを中心に、金属、ガラス等の包装材料の特徴や製造方法について分かり易く解説する。 また、包装は時代と共に変化し、消費者ニーズや環境問題への対応で使われる包装材料も変化するので、それらのトレンドについても説明する。 1. 包装材料の分類と需要動向 2. 紙製包装材料 (段ボールと紙器) 3. ガラス容器 4. 金属缶 5. プラスチック製包材 (軟包装とプラスチック成形容器)	
15:30~17:30	テーマ	生活者にやさしい包装:ユニバーサルデザインとは
	講 師	トータルプロネット 代表 (包装専士) 岡 利彦 氏
	■生活者にやさしい包装 (ユニバーサルデザインとは) 容器包装を生活者の視点 (ユニバーサルデザイン:機能性・環境配慮・安全性等) から見てやさしい包装とは何かを考える。「UDの7原則」の説明と実際の商品を見て触れて見て「生活者にやさしい包装とは何か」を探ってみる。	

4月4日 (金) 第2日目		
時 間	講 義	
10:00~11:10	テーマ	包装を取り巻く規制・法律について
	講 師	日本包装コンサルタント協会 (技術士 (経営工学)、弁理士) 会長 白倉 昌 氏
	生産・流通・販売・消費・廃棄まであらゆる場面で重要な役割を演ずる包装は、多くの規制・法律が関係している。パッケージの開発、設計、販売で必ず必要なこれらの法規制を紹介するとともに、知的財産保護、規格 (標準化) の取り組みを概説する。 1. 法規制の全体像 2. 安全・衛生 3. 危害の防止 4. 公正な販売 (表示、商標) 5. 環境対応 6. 製造物責任 7. 知的財産 (技術、デザイン) の保護	
11:20~12:40	テーマ	包装設計の基礎と考え方 ―設計技法と事例―
	講 師	カゴメ株式会社 商品開発本部 新領域開発部 容器開発グループ (包装専士) 加藤 道昭 氏
	包装設計の基本的な考え方や進め方について、特に食品の包装設計の具体的な事例を交えて分かり易く説明する。併せて、包装設計の簡単な技法についての説明も行い、包装設計の基礎と考え方を理解してもらう。	
12:40~13:40	昼 食	
13:40~15:00	テーマ	輸送環境と包装
	講 師	前オリンパス株式会社 JPI包装専士 (輸送包装講師) (包装専士) 藤井 幸則 氏
	「輸送環境と包装」を構成する以下の内容について、図や画像を用いて分かりやすく解説します。 ・包装設計対象製品の品質特性把握 ・生産地から消費地に「製品」を運ぶ際の輸送環境 ・輸送環境で遭遇する物理的障害と化学的障害 ・輸送環境の障害から保護する方法 ・トータルコストと環境配慮 以上の総括として「製品の品質」を確保するためには、どのような包装設計が「適正包装」と言えるのか、また、トータルコスト配慮と環境配慮の両視点を含めて解説します。	
15:10~16:30	テーマ	「商品企画とパッケージデザイン~商品づくりのポイントとデザインの関わり~」
	講 師	大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター サービス開発本部 プランニング第1部第2グループ 金子 素子 氏
	パッケージデザインは商品企画を具現化・可視化したモノであり、商品と生活者をつなぐコミュニケーションツールです。商品の顔であるパッケージデザインがどのように考えられているのか、商品企画とパッケージデザインの繋がりなどをデザインの構造や役割に沿って解説いたします。 1. パッケージとデザイン・・・その基本概念 4. パッケージの機能とデザイン 2. パッケージデザインの要素と役割 5. パッケージデザインの潮流と傾向 3. 商品コンセプトからデザイン表現へ	